

墨東五区大会（男子決勝戦）

平成28年3月5日

総合スポーツセンター

足立区 対 江戸川区

墨東五区決勝戦。両校ともDFはオールコートマンツーマンでスタート。江戸川区に先制されるも、すぐに、#4のドライブインで同点。江戸川区は連続でゴール下シュート、ミドルシュートを入れるも、足立区はシュートが決まらない。#7のドライブイン、#6のゴール下シュートが決まり、6対6の同点に追いつく、足立区はメンバーチェンジをしてリズムを変える。#4のゴール下シュート、#16のバスケットカウントで同点に追いつき、1Q残り25秒で#10の3Pシュートが決まり、14対11の足立区3点リードで1Q終了。

2Q開始早々足立区は3Pシュートを立て続けに打つが決まらない。#12のハイポストからのシュート、#8のOFリバウンドからのゴール下シュートで5点差とする。江戸川区も果敢にシュートを打ち、リズムを作り始め残り3分で18対16の2点差まで追いつける。そこからは両校のDFが厳しくなり、シュートを打つも決まらずに前半が終了する。2Qは4対5のロースコアで終わる。

3Q江戸川区は開始早々ゴール下シュートが決まり、同点に追いつく。足立区は#9の厳しいDFから#16レイアップが決まり、すぐさま2点差とする。また、#16のOFリバウンドからバスケットカウントを入れ、5点差とする。その後お互いシュート打つものなかなか決まらず、3Qを29対28の足立区1点差で終了する。

最終4Q江戸川区の厳しいDFから足立区はミスを連発し、相手の3Pと2Pシュートが決まり逆転を許す。#4のローポストからのターンシュートを決まるも、すぐさま、3Pシュートを決まられ、最大6点のビハインドとなる。足立区はタイムアウトを取り、リズムよくするが、江戸川区も主導権を渡さず、残り1分43秒まで一進一退の攻撃が続く（足立区37 対 江戸川区43）。足立区は最後のタイムアウトを取り、DFのプレッシャーを強め、#11の3Pシュートで4点差に追いつく。残り12秒で味方からのロングパスに#16が合わせ、42対45の3点差に追いつく。江戸川区のミスもあり、足立区が残り5秒でボールを保持するも江戸川区の厳しいDFからシュートを打つことができず、そのままブザーの音が鳴る。足立区は2連覇とはならなかったが最後まで諦めずにボールを追い、見るものを感動させてくれた。優勝した江戸川区のスタッフ、選手の皆様本当におめでとうございます。